

招 集 期 日	平成 2 8 年 6 月 2 3 日 ( 木 )		開会の場所	教育委員室
開会の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後 1 時 3 0 分	開 会 者	教 育 長
	閉会の時刻	午後 2 時 5 0 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	春 山 教 子 委 員	出 席	
岩本一盛教育長職務代理者	出 席	柿 沼 拓 弥 委 員	出 席	
古 市 明 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説明のための出席者	佐藤学校教育部長	赤坂生涯学習部長	橋本教育総務課長	栗原学校教育課長
	小島学校給食センター所長	池澤生涯学習課長	山木スポーツ振興課長	奥野図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開 会		6 月定例教育委員会を開会		
	教育長	教育委員会の会議は原則公開であるが、人事に関する事件その他の事件について出席委員の3分の2以上の多数で議決した時は公開しないことができる。今回の日程で非公開とすべき案件はないため、すべて公開してよろしいか。		
		異議なしの声あり		
日程第1 前回会議録の承認	教育長	5 月定例教育委員会の会議録の承認について諮った。		
		異議なしの声あり		
	教育長	前回会議録は、承認された旨宣した。		
	教育長	報告事項 1 から 3 について、学校教育課長から説明を求めた。		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2 報告事項1 平成28年度羽生市教育委員会研究委嘱等について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>昨年度より研究委嘱され平成28年度の発表校となるのは、須影小学校、岩瀬小学校、三田ヶ谷小学校、の3校となる。須影小学校についてはタブレット端末の活用、岩瀬小学校は、外国語の教育課程特例校で注目されている。今年から研究委嘱し、平成29年度の発表校となるのは、羽生北小学校、羽生南小学校、西中学校の3校である。研究奨励費の交付は、羽生北小学校図書研究部が委嘱2年目となり、須影小学校の教諭が理科の実践研究で今年度新たに個人研究委嘱される。その他東中学校が緑化教育研究を委嘱されている。</p>
<p>報告事項2 平成28年度羽生市「学力アップ羽生塾」の取組の様子について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>塾生は現在32名、講師は19名となった。塾生3人程度に1人指導者がついて学習しており、大変効果が期待される。会場は市民プラザに加えて中央公民館でも行うこととなった。6月17日の埼玉よみうりでも大きく掲載された。</p>
<p>報告事項3 平成28年度羽生市教育研修センター研修事業の開催について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>市主催の研修を6つ開催予定である。平成の田舎教師育成塾事業研修会は採用2年目から9年目の若い先生が対象である。生徒指導・教育相談中級研修は初級カウンセリング修了者を対象に行う。生徒指導・教育相談研修会は生徒指導主任・教育相談主任が対象であるが、自主的に参加したい人もいるだろうということで、「希望者」を加えた。臨時的任用教員研修会では3つの講義を予定しているが、そのうち服務について特に重視して指導している。郷土を知る研修会は、転入者、初任者及び希望者を対象として藍染め体験を行う。羽生市教育支援員研修会は、市が雇用する学習支援員や介助員、日本語指導員等の研修である。</p>
<p>報告事項4 平成27年度PTA活動研究委嘱報告について</p>	<p>教育長  生涯学習課長</p>	<p>報告事項4、5について、生涯学習課長から説明を求めた。</p> <p>6月3日に開催された羽生市PTA連合会総会で、須影小学校PTAが研究報告を行った。研究テーマは、子どもの「安全」「防犯」を意識したPTA活動である。学区内にイオンモールや国道122号</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項5 「宝蔵寺沼ムジナモ自生地」見学会の開催について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>があって買い物等便利であり、子どもにとっても魅力的であるが、安全、防犯について課題がある。各委員会を組織し、交通安全委員会では交通安全教室の開催、研修企画委員会では防犯講習、保健委員会では AED 講習会等を行っており、限られた時間内で何をすることが子どもにとって最も良いか、活動を常に見直ししながら、考えていきたいという報告であった。</p> <p>宝蔵寺沼ムジナモ自生地は、昭和 41 年に国の天然記念物指定を受け、今年が 50 周年という節目の年である。見学会は 7 月 31 日の午前 11 時 30 分に三田ヶ谷農村センターに集合し開催するが、日時の設定はムジナモの開花時期に合わせたものである。先日、三田ヶ谷小学校の児童が自生地でムジナモの放流を行ったことが新聞に掲載されたが、継続的に自生地の保全活動を行っていききたい。ムジナモの数は平成 26 年に 360 株であったものが今年 5 月では約 3 万 1 千株となっている。5 年間に渡る調査に基づき地道に活動してきたことが少しずつ実を結んでいる。埼玉県レッドデータでは野生絶滅と言われているが、これを見直すことができるよう働きかけていきたい。</p>
<p>報告事項6 第29回羽生市陸上競技記録会の結果について</p>	<p>教育長</p>	<p>報告事項 6 について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p>
<p>報告事項6 第29回羽生市陸上競技記録会の結果について</p>	<p>スポーツ振興課長</p>	<p>5 月 22 日に羽生市陸上競技協会と羽生市教育委員会との共催で開催された。参加実人数は 230 名、競技参加延べ人数は 318 名であった。主催団体である羽生市陸上競技協会の役員を中心に十分に打合せを行い、適確な大会運営に努めることができた。また、昨年度購入したスポーツ計時計測器（スーパーストップウォッチ）を使用し、記録の計測、集計ともスムーズに進行できた。今大会では中学校男子 4×100m リレーにおいて東中学校のチームが大会記録を 45 “88 で更新した。</p>
	<p>教育長</p>	<p>報告事項 7、8 について、図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。</p>

会議事件名	て ん 末	
報告事項7 図書館・郷土資料館 開館30周年記念「図 書館・郷土資料館ま つり」の開催につい て	図書館長兼郷土資料館長	<p>図書館・郷土資料館が本年度で開館30周年を迎えることを記念し7月16日に開催する。図書館側では、人形劇や昔語り、工作体験、郷土資料館側では、企画展示、昔の遊び体験や、琵琶の演奏と朗読等も行う。これらは30周年記念事業のために特別に行うものではなく、いつも行っている企画を集中して行うことにより、図書館、郷土資料館を支えてくださっている方々を沢山呼び、皆で祝おうという趣旨のまつりである。そのため招待状等は無く、どなたでも来てすぐ参加していただけるまつりにする予定である。</p>
報告事項8 ふるさと講座Ⅰ「古 文書から読む地方 史」の開催について	図書館長兼郷土資料館長	<p>羽生市に残っている村方文書を用い、皆で読み解きながら羽生市の歴史について学び、郷土愛に結び付けていく事業である。9月25日に図書館2階視聴覚室で開催し、講師には文化財保護審議委員の坂田英昭氏を招く予定である。定員は40名とし、広報H a n y u9月号にて募集する。</p>
	教育長	<p>その他の報告を求めた。</p>
報告事項9 その他	スポーツ振興課長	<p>トップアスリート育成事業の少年野球教室について中間報告する。少年野球教室については今年度2回実施する計画であり、6月4日に第1回を開催した。元プロ野球選手である黒江先生はじめ5名の講師を招き、市内小学生4年生から6年生及び指導者を対象に盛大に行われた。参加者は小学生が138名、指導者が53名で合計191名となり、走塁の基礎、各ポジションの守備の基礎、バッティングの基礎等について、講師の方々に丁寧な指導をいただいた。子ども達、指導者達も一生懸命に耳を傾け、真剣な眼差しで受講していた。</p>
	教育長	<p>報告事項に関して質問・意見を求めた。</p>
	古市委員	<p>図書館・郷土資料館まつりについては、大変大きなイベントで</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>あり、職員や協力者たちのノウハウを積み上げ、是非事業を成功していただきたいと思う。一日だけではもったいない気がするので、その他の企画も「30周年記念」と冠し、市民に周知すると良いのではないかと。30年間で歴代の館長や運営委員会や協力してくださった方がいて今があるため、まつりを盛り上げるためにもそれらの方々に協力していただけたらいいか。</p> <p>委員のおっしゃるとおりであり、今回のまつり以降も、郷土資料館の企画展等で「開館30周年」という言葉を使う予定がある。歴代館長等の招待についてもこれから検討して協力を仰ぎたい。</p> <p>古市委員 せつかくなのでマスコミへの取材要請や市長の定例記者会見での発表等PRしてみたいか。</p> <p>図書館長兼郷土資料館長 マスコミには既に開催の連絡は発送しており、あとは取材に来ていただけるかどうかである。宣伝も大いにさせていただくつもりである。</p> <p>古市委員 どのような宣伝を考えているか。</p> <p>図書館長兼郷土資料館長 学校、公民館の他、市内の公共施設にポスターを掲示している。また、広報及びホームページにも記事を掲載する。郷土資料館の企画展については、7月16日から8月29日までの期間で実施するため、リーフレットを4000枚程作り、児童生徒や公共施設等に配布する予定である。</p> <p>春山委員 学力アップ羽生塾については、当初の狙いは経済の格差が学力の格差であるというところを埋めたいというものであったと思うが、どちらかというと教育熱心な保護者が送り迎えし、我が子に少しでも学力を付けたいということで参加させている例もある。しかしとても評判が良く、子ども達にとってもプラスになっていると思う。まだ始まったばかりではあるが、当初の目的の達成を目指して、これからどうしていくかを考えていくことが大事だと思う。</p>

会議事件名	て ん 末	
	学校教育課長	<p>立ち上げ段階から教育委員会でも充分話し合いを行った。学力の差を埋める目的は表立っては言えないが、学校や保護者に働きかけ、勉強に行き詰っている子ども達に参加して欲しい。思っていた以上に、学力的に中位以上の子ども達に参加している現状は委員ご指摘の通りである。当初は会場を3ヶ所として開催する案もあったが、学校の負担や講師と指導主事の人数の問題があったため、1会場となった。幸いこの事業が軌道に乗れそうな手ごたえを感じているため、そう遠くない未来に各地域に広めていけたらと考えている。運営のNPO法人化の検討やコミュニティスクールの動きもあり、どのような形が一番いいか模索しながら、まず中学校区の3ブロックで開催できれば、会場まで遠くて行けない子が参加しやすい状況になっていく。今の形から段階的に発展させていきたい。</p>
	岩本委員	<p>現在の講師が19名とのことだが、どのような方々か。講師となるための資格要件等、今後事業を拡張する上でマンパワーをどのように確保するかを考える必要があると思われるが、実際に事業に関わる方は現状どのようになっているか。</p>
	学校教育課長	<p>現在の講師は全て元教員である。元校長等の管理職もおり、かつては核となり学校を動かしてきた元教員集団である。指導の様子も何回か見ているが、大変質の高い贅沢な状況である。今後も専門の方を集め、今の指導レベルを持続したい。</p>
	春山委員	<p>これからそれぞれの地域に広げていくことを考えると、より幅広い人達に関わることも良いかと思う。例えば集会所学習について内容を充実していくことは検討できるか。</p>
	学校教育部長	<p>現在の集会所学習は近くで行っているのにも拘らず、学力に特化すると集まり難い傾向にある。年間20回近く行っている内の半数程度はレクリエーション的な催しで参加者を集めている現状である。元々集会所学習は地域振興も含めて行ってきたものであり、学力向上を軸にするとそれまで参加していた子ども達が来なくなるという懸念がある。</p>

会議事件名	て ん 末	
	岩本委員	<p>元教員の講師に指導していただけることは良いと思う。ある程度の質が必要であり、参加する子ども達の学力の層が限られていれば、ある意味教え易いということがあると思うが、参加する子どもが多様化した場合、受け入れる側の人材も多様である必要が生まれる。教える方が誰でも良いという訳には決して行かないため、しっかりと教育の質を確保しながら、相談員的な人や用紙の配付・回収をする人等、役割分担をしながら NPO による運営を視野に入れて発展していくことも良いと思う。</p>
	春山委員	<p>会場まで自分で行けない場合、保護者が送り迎えできる子どもは限られると思われるため、歩いて行ける距離に会場があることもこれから望まれると思う。</p>
	学校教育部長	<p>歩いて行ける範囲であれば、先生方からの働きかけもし易くなり、そのような地域の拠点を会場とすることができれば、事業の当初の目的に近いものになっていくと思われる。</p>
	柿沼委員	<p>将来的なビジョンとして公民館での開催という話が出たが、NPO による運営の他、PTA の協力も得られるのではないかと。ある学校では夏休みのプール活動等で、休み時間に保護者達が丸付けを手伝うという動きも出ている。勉強を教える核となるのは講師の先生だが、プリントを配ったり、丸付けをしたりという補助的な事は保護者等にもできるため、事業拡張の手助けとなれると思う。</p> <p>年間計画をみると、開催日程が大変過密で講師が多忙となりそうだが大丈夫か。</p>
	春山委員	<p>十数人の講師がローテーションで指導する予定である。</p>
	教育長	<p>現在は土曜日のみだが平日での開催も視野に入れて一年間事業を実施してその効果を検証し、次年度に新たな策を講じていきたい。</p>
	古市委員	<p>PTA 連合会総会での研究発表で保健委員会というものが出来たため、それについて考えてみた。これは PTA 役員の保健委員会だが、学校にも保健委員会があり、児童生徒にも保健委員がいる。</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>PTA と学校双方の保健委員会が協力し合うことが必要だと思う。新郷第一小学校の歯科保健では6年生が1年生を指導するような、クラスの保健委員の力があり、友達に教わったことを後々まで守るようなところが良かった。学校とPTA が全く別な活動をしていても勿体無いので、例えば学校の保健委員会で、たばこの講話等企画する際は、PTA の保健委員もクラスの保健委員も参加するようなことも良いと思う。学校の保健委員会は主に養護教諭が担当しているが、これを保健主任教諭、校長、教頭等がサポートする。さらに教育委員会の指導主事、保健センターの歯科衛生士や保健士が関わってお互いの垣根が取れて、最終的に総合的な健康、予防医学等に繋げられれば素晴らしい。</p> <p>教育長 国も地域学校保健委員会を推進しようと言っているため、委員の意見のとおり PTA の保健委員会と学校の保健委員会の協力を手始めとし、発展していけると良いと思う。</p> <p>春山委員 ムジナモ自生地見学会に関して、5 年間の調査の成果としてムジナモが増えたとあったが、昨年の 1600 株から今年 3 万株と、増え方が凄い。どのような活動があったか教えていただきたい。</p> <p>生涯学習課長 春先におたまじゃくしの卵を駆除している。また、以前はムジナモの自生環境の保護のためタヌキモ等を除去していたが、鯉による食害は先にタヌキモを食べることで抑えられることが分かったため、食物連鎖のバランスを考えて環境を保つこととした。さらに、大雨による冠水時にムジナモが流出しないよう、あえて陸地の芦を刈り残し、そこに引っかかるようにして、職員や保存会が水に戻したりしている。緊急調査によるムジナモが減少する原因の究明と地道な保護活動の結果、ムジナモが増えることができる環境になりつつあることが、株数の大幅な増加に繋がっていると思う。</p> <p>春山委員 水質が変わったということではないのか。</p> <p>生涯学習課長 他の生物による食害と、自生地外への流出防止の対策をしたことが一番大きい。水質については、草を刈る等の環境整備をしているため、少しずつプラスの影響が出ているようにも思う。</p>



会議事件名	て ん 末	
	教育長	<p>教育と同じで、良くないものを全て排除することがベストではない。鯉が先にタヌキモを食べることによってムジナモを食べてしまう量を減らす等、工夫して3万1千株まで増やせたことは、本当に有難く思う。三田ヶ谷小学校の子ども達も一生懸命育てているところを見て、羽生市の子ども達の力強さを感じた。</p>
	生涯学習課長	<p>以前、先日解体した旧岩瀬小学校のプールに、水を引いて土を入れ、ムジナモの育成を試みたが全然増えず、ユニット浴槽のような小さな器に土を入れ、マコモを入れたりすると育った。岩瀬で増やしたムジナモを自生地に放流したりしたが、日当たりや水の状態その他育成に適した環境があるようである。</p>
	古市委員	<p>ムジナモ自生地の天然記念物指定より50周年であり、見学会の他にも50周年記念事業を行っていただきたい。以前あった埼玉大学の金子先生の講話は、羽生市民だけでなく多くの人に聞いてもらいたい内容であった。</p>
	生涯学習課長	<p>昨年の羽生学講座で、金子先生はじめ緊急調査に携わった5人の先生方にお話をいただいた。今年は10月29日から郷土資料館で指定50周年記念の企画展の開催を予定している。緊急調査の関係が中心となると思うが、その中で現在の成果に辿り着いた報告等ができれば良いと思う。</p>
	柿沼委員	<p>羽生市陸上競技記録会の結果に関して、中学校は全3校、小学校は7校出場してとの事である。学校側の判断での出場の有無もあると思うが、出場者が多いほど保護者の方も盛り上がるのではないかと思う。かつてこの記録会で良い成績を収めた児童生徒のその後の活躍等も興味がある。</p>
	スポーツ振興課長	<p>各学校でも独自に陸上競技会等を行っていたりするため、学校の行事を優先する例もある。出場者からは他の学校の選手と走ることができて楽しかったという感想も聞いているので、そのような意味ではこの陸上競技記録会により多くの学校が参加していただけると良いと思う。</p>

会議事件名	て ん 末	
	柿沼委員	<p>子どもの頃に市の水泳大会があり、他の学校にはこんな強い子がいるのかという事を知る機会があった。勉強になると思うので是非進めていただきたい。</p>
	教育長	<p>積極的に多くの子ども達にチャンスを与えたいが、記録会の出場は保護者の申請が必要であるため、保護者への働きかけもお願いしたい。</p>
	古市委員	<p>陸上競技場のグラウンドが公認ではない事が少し残念である。公認となるような競技場を整備するには大変な費用がかかると聞いているが、設備や器具等もだいぶ変わってくるのか。</p>
	生涯学習部長	<p>陸上競技場が建設された当時は、3種公認の陸上競技場であったが、現在において公認とするには、様々な設備や器具を新しいものに入れ替える必要があり多額の費用がかかる。現状は数年に一度トラックのコースロープ等を張り替える工事等を実施し、公認ではないが、なるべく良い環境を目指している。中学、高校生の参加が少なくなってしまったのは、土のコートではあまり記録が伸びないため、近い時期に全天候型の競技場で行われる記録会に出場するという理由による。今後は開催時期の検討も必要と感じている。この記録会については、選手でなくても誰でも走れるという主旨で始めた経緯がある。多くの方に参加していただけるよう、小学校についても働きかけていきたいと思う。</p>
	古市委員	<p>何か工夫することにより公認されれば、例えばオリンピックの時に、どこかの国の選手が練習に使ってくれる事もあるかもしれない。東京オリンピックが開催されることが、一つのチャンスかもしれないと思う。</p>
	生涯学習部長	<p>まさにその通りであり、2020年の東京オリンピック開催にあたり、羽生市にも練習会場としてどこの国でもいいから来ていただきたいと、現在市の職員の中でプロジェクトを進めている。今の財政状況をみると施設の整備を行う事は難しいという見解もあるが、希望を持って声を挙げていきたい。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 協議事項1 羽生市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱（案）</p>	教育長	<p>小学生の陸上記録会というものがあるが、これは先生達が記録をとる。羽生市の陸上記録会は専門的な方が記録をとり、精度の高い計測器もある。その辺りも視野に入れ、来年度は30回目の開催となるため、これらを融合する事もできたら良いと思う。</p>
	古市委員	<p>教育研修センター研修事業について、複数の研修で対象に希望者を加えた事は非常に良いことである。やる気のある人を受け入れる姿勢を今後も続けていただきたい。</p>
	教育長	<p>平成の田舎教師育成塾事業研修会において参加者と少し話す機会があった。中学校3名、小学校9名、計12名の教員が参加したが、とても意欲的であり、これが2回目であるという人もいた。研修したい、良い授業をやりたい、良い先生になりたいという人が希望すれば参加できる仕組みとなった事は非常に良かった。</p>
	教育長	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>協議事項1について教育総務課長から説明を求めた。</p>
	教育総務課長	<p>平成28年度の国の予算が成立し、就学援助費支給経費の要保護者に対する国庫補助金における、補助金の限度単価が改定になったことをうけ、外活動費及び修学旅行費について支給額を増額するものである。</p>
	教育長	<p>協議事項1に関して質問・意見を求めた。</p> <p>特になし</p>
教育長	<p>協議事項1については、よろしいか。</p>	

会議事件名	て ん 末	
日程第4 議案第38号 羽生市学校給食センター運営協議会規則の一部を改正する規則	教育長	異議なしの声あり  協議事項1については、承認された旨宣した。
	教育長	議案第38号について学校教育課参事兼学校給食センター所長から説明を求めた。
	給食センター所長	過日行われた校務分掌上の「給食主任」の名称が「食育主任」に変更になったことに伴い、規則中の文言の改正等を行うものである。
	教育長	議案第38号について意見・質問を求めた。
	古市委員	給食主任から食育主任に名称が変わったとの事であるが、「食育」は食事を通した教育であるため、適当であると思う。是非、健康に繋がる食育で活躍していただきたい。
	給食センター所長	昨日、今年度2回目の給食試食会を行ったが、小松菜を入れたメンチカツについて、参加者である保護者から反響があった。現物を見せないで食べさせることも一つの方法であり、食育主任の先生が「食べられた」という勇気付けをし、少しでも子ども達の苦手意識を取り除く。「食育」という言葉を使うことにより、一歩先へ踏み込んだ指導ができると感じた。
	岩本委員	校務分掌上の名称変更は食育基本法に基づいており、そのことにより、運営協議会の規則が変わったという理解で良いか。
	給食センター所長	その通りである。

会議事件名	て ん 末	
<p>議案第39号 羽生市学校給食センター運営協議会委員の委嘱又は任命について</p>	教育長	<p>議案第38号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>議案第38号については、可決された旨宣した。</p>
	教育長	<p>議案第39号について学校教育課参事兼学校給食センター所長から説明を求めた。</p>
	給食センター所長	<p>学校教職員の人事異動及びPTA役員の交代により、給食センター運営協議会委員の12名の内、8名の欠員が生じたため、新たに8名を委嘱又は任命するものである。任期は前任者の残任期間である。</p>
	教育長	<p>議案第39号について意見・質問を求めた。</p> <p>特になし</p>
	教育長	<p>議案第39号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>議案第39号については、可決された旨宣した。</p>
	教育長	<p>議案第40号について生涯学習課長から説明を求めた。</p>
<p>議案第40号 羽生市社会教育委員の委嘱について</p>	生涯学習課長	<p>学校教職員の人事異動及びPTA等団体の役員交代により、社会教育委員5名の欠員が生じたため、新たに5名を委嘱するものである。任期は前任者の残任期間である。</p>

会議事件名	て ん 末	
議案第41号 羽生市スポーツ推進 審議会委員の委嘱に ついて	教育長	議案第40号について意見・質問を求めた。  特になし
	教育長	議案第40号については、よろしいか。  異議なしの声あり
	教育長	議案第40号については、可決された旨宣した。
	教育長	議案第41号についてスポーツ振興課長から説明を求めた。
	スポーツ振興課長	委員は識見を有する者、市内スポーツ団体の代表者、関係行政機関の職員で構成され、全11名の内5名が新任、6名が再任となっている。前委員の任期満了に伴って新たに委嘱するものであり、任期は平成28年4月1日から平成30年3月31日までの2年間である。
	教育長	議案第41号について意見・質問を求めた。  特になし
	教育長	議案第41号については、よろしいか。  異議なしの声あり
	教育長	議案第41号については、可決された旨宣した。
	教育長	次回教育委員会日程について事務局より説明の旨。

